

登録コード	E2000900	開講年度	2026				
授業科目	日本語学基礎					担当教員	大井 和彦
英文授業名						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	2・3
講義室	教育N101講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	中等教育の学習活動を担うために必要な知見を踏まえ、国語を尊重する使命感や倫理観の獲得に対する意欲を高め、語学の教育の実現を目指して日々の努力と研鑽を続けることができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	中等教育における国語科の授業を遂行するため、語学に関する基本事項を理解し、具体的な方法を通じて実践場面で活用できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	中高国語科における「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の学習活動に資するための日本語研究に対する基本的な知見に触れながら、言語としての日本語を観察し捉え直す姿勢を養う。						
(5)授業計画	第1回 オリエンテーション 日本語学と国語科教育 【オンデマンド】 第2回 日本語学と国語科教育 第3回 日本語と社会言語学1ー方言 【オンデマンド】 第4回 日本語と社会言語学2ー現代日本語の変異 第5回 日本語の語彙1ー和語と漢語 【オンデマンド】 第6回 日本語の語彙2ー語構成・位相 日本語学とSTEAM 第7回 日本語の文字・表記1ー表記と音 第8回 日本語の文字・表記2ー文字言語と音声言語 第9回 日本語の音韻1ー拍・アクセント 第10回 日本語の音韻2ーイントネーション・プロミネンス 第11回 日本語の文法1ー品詞・活用 第12回 日本語の文法2ーヴォイス・アスペクト・テンス 第13回 日本語の文法3ー待遇表現・モダリティ 【オンデマンド】 第14回 まとめー日本語と国語 授業アンケート 第15回 試験						
(6)成績評価の方法	各講義内容に関するLMSワーク（含 講義中課題ワークシート等）を適宜課す。評価は、最終試験ならびにLMSワークの内容を以て判断する。 評価要素の割合：確認テストー20%、講義中課題・振り返りー40%、最終試験ー40%						
(7)成績評価の基準	秀：講義内容を十分に理解し、内容を踏まえ自己と向き合い、言葉に関する違和感や探究的課題を自ら見出しながら、省察的に考察を行っている。 優：講義内容を理解し、興味を持った探究的課題に積極的に取り組みながら、言葉に関する思考を行っている。 良：講義内容をほぼ理解し、十分に課題に取り組んだ。 可：講義内容をある程度理解し、課題に取り組んだ。 不可：講義内容の理解・参加意欲が不十分である。						
(8)事前事後学習の内容	事前には、各予定内容に対する自己の生活上の振り返りを行い、それを基に講義に参加し、事後はそのまとめを行う。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	国語科教員としてのことばに対する自覚と省察の姿勢を養うべく、積極的な参加を願います。 担当教員の業務都合により、一部の回がオンデマンドになります。日程確認をよく行ってください。また、それに伴い、内容が前後することもあります。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談は授業時等で対応する。また、メールでの相談にも応じる。 研究室：中校舎M406 アドレス：kazuhiko_oi@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	伊坂淳一『新ここからはじまる日本語学』ひつじ書房						
【参考文献】	衣畑智秀編『基礎日本語学 第二版』ひつじ書房 その他 適宜日本語学・言語学に関するものを紹介する						